

こんどは、「ごむ」のかたちがちがう、マスクをつくってみよう！ まじくてーぶもつかうよ！

**保護者の方へ**

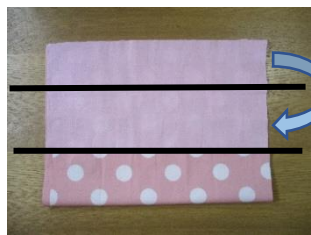
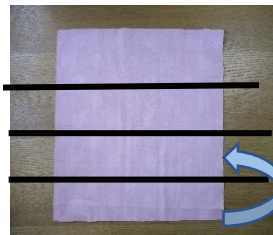
衛生面を考えると、マスクの着脱の回数はできるだけ少なくしたいですね。今までは、うがいの時など、マスクを外さないといけないうちは、マスクを耳にかけたまま上げ下げしたり、ポケットにしまったりしてきました。しかし、今はマスクをつける機会や時間が増えています。着脱をする際に、下に落としてしまったり、ぽんと机の上などに置いたりしまいがちです。そこで、落としたり、どこかに置いてしまったりなどしないように、はちまきのように頭につける形のマスクを考えました。マスクを外さないといけないうちの場面では、首元までマスクを下ろします。自分の汗などはついてしまう可能性がありますが、地面や床に落ちたり、机や棚などに置いたりするよりは、衛生的で、また、落とす度に新しいマスクを用意することもありません。ぜひ、お子さんと作って、ご活用ください。

**じゅんぴするもの**

- ハンカチ 1まい
- わっかにしたごむ 2ほん
- (40cm～50cmのゴムを輪にして準備ください。お子さんの頭の大きさに合わせ、長さは調節してください)
- まじくてーぶ 2つ



① ハンカチをうらがえします。したからまんなかのせんまでおります。



② うえもおなじようにおきましょう。



③ そっとうらがえします。



④ また、おなじようにしたからまんなかのせんまでおります。うえからもおなじようにおきましょう。



⑤ ひだりはしに、まじくてーぶをつけます。

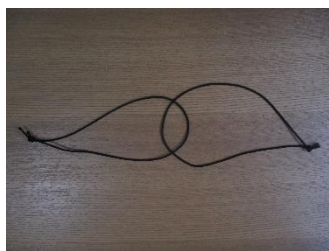


⑥ またそっとうらがえし、みぎはしにまじくてーぶをつけます。



おなじかたちのまじくてーぶをつけてね！

⑦ 「ごむ」をつくります。  
「ごむ」をしたのしゃ  
しんのようにおきます。



⑧ まんなかにできたまるのした  
から、みぎがわのはっしこをとあ  
してうえにひっぺります。



⑨ さいごまでひっぺると、  
2ほんの「ごむ」がつながり  
ます。



⑩ 「ごむ」をとおしてまんなか  
までおります。



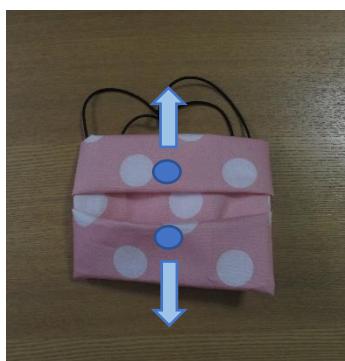
⑪ はんたいがわも「ごむ」をとあ  
して、まんなかまでおります。



⑫ まじくって一ぶを  
ぴったりとつけます。



⑬ そのままひっくりがえします。うえとした  
のぬのをやじるしのようにすこしひっぺりま  
す。これで、かわいいますくのできあがり！



じぶんのおきにいいりのはんかちでつくって  
みよう！！



このますくは、ずれないよ。

※ よい扱いやすく、丈夫なマスクにするには…

- ① マジックテープを縫い付ける。
- ② アイロン装着タイプのマジックテープにする。 (ゴムがしっかりとまるのでお勧めです！)
- ③ マジックテープではなく、スナッフを使う。
- ④ 四隅を縫う。

いろいろアレンジしてみてくださいね！



つけたあとは、じぶんでおせんたくしようね。  
できるかな。

～せんたくのしかた～

よいするもの

おおきめのおけ (せんめんきなど)

いるいようのせんざい (水2ℓに対して約0, 7g)・

せいけつなたおる

- ① おうちのひとといっしょに、せんめんきに、みずをせんざいをときます。
- ② ①のなかに、ますくをいれて10ぴんつけておきます。
- ③ 10ぴんたったら、かるくおしあらいをします。  
(揉むと繊維を傷める可能性がある)
- ④ あらいおわったら、おけにいれているみずをながす。
- ⑤ おけをあらひ、みずをためて、ますくのせんざいをすすぐ。しっかりすすぐ。
- ⑥ すすいだら、みずけをきって、たおるにはさんでたたき、みずけをとる。
- ⑦ みずけがなくなったら、ひかげにほして、しぜんにかわくのをまつ。

※ 厚生労働省/経済産業省が公開している「布製マスクの洗い方動画」を参照ください。